

サンカノゴイ



サンカノゴイは、山陰地方では冬鳥として飛来するサギの仲間です。毎年米子水鳥公園で越冬している可能性があります。観察される機会がとても少なく、飛来状況が分かりにくい鳥です。

サギの仲間は、くちばしや首、体、脚が細長く、細身の体型をしているものが多いのですが、サンカノゴイは全体的に太めの体型です。全長はおよそ70センチで、アオサギ、ダイサギに次いで大きなサギです。体が太い分、数字以上に大きく見えます。

そして、羽色は全身にこげ茶色の細かくて複雑な模様が散らばっている黄土色で、枯れたヨシ原に見事に溶け込みます。全身があらわになっても、周辺の枯草に紛れてしまうほどです。体型、羽色ともに、かなり個性的なサギです。

また、サンカノゴイは広いヨシ原に生息する鳥で、ヨシ原に潜んでばかりいてなかなか姿を現し

ません。水鳥公園では、ごくまれにヨシ原から飛び立って遠くの茂みに飛び込むことがあって、運よくそれを目にすることができたときしか、存在を確認できません。そのため、見かけるのは飛び去る後ろ姿ばかりで、地上にいる姿を見ることはとても珍しいです。



しかし、平成27年12月6日の朝8時10分ごろに、ネイチャーセンターの前にある島に現れ、全身が観察できたことがありました。その時の観察距離は、ネイチャーセンターからおおよそ60mでした。サンカノゴイがこんなにネイチャーセンターの近くに現れたのは、平成24年4月以来、2度目です。この時、私はその場にいなかったため、残念ながら見ることはできませんでした。

全身を観察できる大変貴重な機会でしたが、サンカノゴイはすぐに飛び立ち、遠くのヨシ原へと姿を消してしまいました。それ以降、水鳥公園では記録が途絶えています。今年の冬こそは、久しぶりに姿を見せてほしいものです。

米子水鳥公園主任指導員 きりほろ 桐原 けいすけ 佳介



トモエガモ

12月に見られる生きものたち

鳥類：マガン、コハクチョウなどのハクチョウ類、トモエガモなどのカモ類、ヘラサギなどのヘラサギ類、ダイサギなどのサギ類、ノスリなどのタカ類、カワウ、カイツブリ、オオバン、オオジュリンなどの小鳥類 哺乳類：ヌートリア など

12月の催し

自然観察会「冬の木の実を探してリースを作ろう！」

とき：8日(土)午後1時30分～3時30分。対象：小学生以上、定員25人(要予約)。

カラフルな野鳥マグネットを作ろう！

とき：22日(土)～28日(金)

参加費：1個につき100円

鳥の亥年年賀状を書こう！

とき：15日(土)～28日(金)

参加無料

「第24回米子水鳥公園絵画コンクール」作品募集

身近な鳥、大好きな鳥、自然の中の鳥など、生き生きと描かれた作品を募集します。募集期間：15日(土)～1月9日(水)。対象：小学生。応募方法などくわしくはお問い合わせください。

手作り自然教室「水鳥の絵を描く会」

望遠鏡で実際に水鳥を観察して画用

紙に描きます。画用紙は提供します。

とき：24日(月・振休)、1月6日(日)午前9時～正午。対象：小学生以上先着15人(要予約)。持ち物：鉛筆、消しゴム、絵の具セット。参加無料。

水鳥のバードカービング・デコイ公募展

水鳥の木彫り作品(デコイ)のコンクールの全応募作品などを展示します。とき：23日(日)～1月6日(日)

自然観察会

「初日の出！コハクチョウ観察会」

とき：1月1日(火・祝)午前7時～8時。暖かい服装でご参加ください。双眼鏡は貸し出します。参加無料。

ドングリこま回し大会2019

ドングリでこまを作り、回った時間に応じてオリジナル干支バッジをプレゼントします。とき：1月1日(火・祝)～6日(日)。参加無料。

水鳥公園の生きものカルタで遊ぼう！

とき：1月1日(火・祝)～6日(日)。対象：5人前後のご家族や友人グループにおすすめ。参加無料。

水鳥のデコイ展特別企画「コアジサシ保全のためにデコイを作ろう」

とき：1月5日(土)午前9時～午後3時。対象：小学4年生以上。先着15人。要予約。参加費：1体制作につき500円(入館料込み)。

●会場・集合は特に記載のない場合水鳥公園ネイチャーセンターです。

●米子水鳥公園の催しへの参加には入館料が必要です。手作り自然教室の参加費は、入館料を含めた大人・子ども一律の料金です。

●入館料は、高校生～69歳の方は310円、その他は無料です。

■開館時間

平日：午前8時30分～午後5時30分
土日祝：午前7時～午後5時30分

※元日～1月3日は臨時開館します。元日は午前7時～午後5時30分、2日以降は通常開館です。

■休館日

毎週火曜日と29日(土)～31日(月)